

## 令和8年度第一回越谷市学校給食運営委員会議事録

- 1.開催日時 令和8年(2026年)7月13日(月)午前10時30分から11時30分
- 2.開催場所 越谷市立第三学校給食センター 2階会議室
- 3.出席委員 須賀委員、矢持委員、谷口委員、伊田委員、秋山委員、中根委員、田島委員、安濃委員、八百板委員、山本委員、田崎委員、岩本委員、関戸委員、青木委員、中台委員、大竹委員、松田委員(17名)
- 4.欠席委員 津田委員、奥村委員、小泉委員(3名)
- 5.事務局出席者  
磯山学校教育部長、小澤副参事兼給食課長、砂原調整幹兼第一学校給食センター所長、(司会)中山調整幹兼第三学校給食センター所長、塚本副課長、平野主幹、黒田主幹、石黒主査、松澤主任
- 6.傍聴者 なし
- 7.議題 (1)学校給食運営委員会副会長及び献立部会長の選出について  
(2)献立部会副部会長及び物資部会副部会長の選出について  
(3)令和7年度学校給食費の執行状況について  
(4)令和8年度越谷市教育行政重点施策について  
(5)令和9年度学校給食のテーマ(案)について  
(6)学校給食費の改定(案)について  
(7)学校給食研究協議大会の事業内容見直し(案)について  
(8)その他  
①各部会の会議日程について

---

### <司会>

ただ今から、令和8年度第一回学校給食運営委員会を開会します。

### <会長挨拶>

安濃会長より、会長職の3年目を迎えるにあたっての挨拶をいただいた。食材費や物価の上昇、卵などのアレルギー対応や仕入れの課題に触れつつ、児童生徒たちに美味しく安全な給食を届けるために本委員会で貢献していきたい旨が述べられた。

### <越谷市教育委員会挨拶>

磯山学校教育部長より、日頃の学校給食運営への協力に対する謝辞が述べられ、令和8年4月からの小学校給食費完全無償化(国の基準額5,200円に加え、超過分も市が地方創生臨時交付金を充当して全額無償化)の実施状況を説明した。また、本日の議題である給食費の価格改定についての審議協力を求めた。

#### <委員の変更および紹介>

令和8年度における運営委員会委員の変更（各小中学校長、PTA 連合会選出等の異動に伴うもの）が報告され、名簿（資料1）に基づき、各委員からの自己紹介および事務局職員の紹介が行われた。

#### <議長の選任>

越谷市学校給食運営委員会規則第5条第2項の規定に基づき、安濃会長が議長を務めた。

#### <会議内容>

議題1：学校給食運営委員会副会長及び献立部会長の選出について

前任者の退任に伴い、新役員の選出が行われ、以下の通り選出・承認された。

副会長（兼 献立部会長）：須賀達也 委員（越谷市小学校長会選出・東越谷小学校長）

#### <副会長就任の挨拶>

須賀達也副会長から就任の挨拶をいただく。

議題2：献立部会の副部会長及び物資部会の副部会長の選出について

前任者の退任に伴い、新役員の選出が行われ、以下の通り選出・承認された。

献立部会 副部会長：山本 綾 委員（PTA連合会選出・栄進中学校PTA会長）

物資部会 副部会長：矢持嘉人 委員（越谷市小学校長会選出・新方小学校長）

議題3：令和7年度学校給食費の執行状況について（資料3）

#### <事務局>

資料3に基づき令和7年度の執行状況を報告した。給食費改定に伴う保護者負担の軽減措置（小学校は月額 4684 円のうち 4000 円、中学校は月額 5553 円のうち 4850 円を保護者負担とする）について説明を行った。年間の給食実施回数は、小1～中2が183回、中3が177回である。

給食費の調定額（請求総額）は 12 億 5012 万 9118 円に対し、調定済みの収入額は 12 億 2,216 万 9,276 円。差し引きの収入未済額、つまり滞納額は 2,795 万 9,842 円、収納率は 97.76%であった。

食材費に対する支出総額は 15 億 9845 万 4120 円となり、収入との差額（マイナス 3 億 7628 万 4744 円）は公費（国からの物価高騰対応重点支援\_地方創生臨時交付金、および市費）で負担した。

令和8年度の予算見込みについては物価高騰を見込み、食材費の支出総額は18億円を予定している。

<質疑>

給食費の徴収事務が学校から市給食課に移管され、口座引き落としや請求方法の変更により収納率はどう変わったか。

<事務局>

令和6年度から給食費の徴収事務が給食課へ移管されたが、2年連続で悪化している。

<質疑>

悪化している理由は。

<事務局>

給食費の徴収事務が学校現場から市に移管されると、越谷市だけでなく一般的には収納率が下がるといわれている。その理由は、学校での徴収が集金袋や口座振替での支払いがある中で、児童生徒の給食費を支払っていないと担任の先生に知られてしまうのではないかという不安から納付いただけることが多いが、支払先が教育委員会に変わると、心理的に距離が生まれてしまって悪化するといわれている。

また、最近の傾向として、近年の物価高騰が影響し、相対的貧困家庭で家計が回らなくなり小さな支払いが後回しになっていることがあげられる。

<質問者>

収納率が悪化していることには驚いた。ありがとうございました。

議題4:令和8年度越谷市教育行政重点施策について(令和8年度越谷市教育行政重点施策)

<事務局>

配布資料に基づき学校給食における食育推進の重点施策について説明を行った。令和8年度は「まごわやさしい」(ま:豆、ご:胡麻、わ:わかめ/海そう、や:野菜、さ:魚、し:椎茸/きのこ、い:芋)を合言葉に、バランスの良い給食を提供し、ポスター等を各学校に掲示して啓発を行う。朝食摂取に関する食育事業として、就学時健康診断等における保護者へのリーフレット配布や、各小中学校での食育指導を継続していく。

<質疑>

なし

議題5:令和9年度学校給食のテーマについて(案)(資料4)

<事務局>

令和9年度のテーマ(案)「よく噛むことの大切さ」について提案した。噛み応えのある食材を取り入れた「かみかみ献立」の導入や、「ひみこのはがーぜ(噛むことの8大効用)」をスローガンとした指導を行う方針である。また、本テーマ(案)に対する意見がある場合は資料5で提出することを案内し、令和8年7月31日(金)までの期限とした。

<質疑>

「ひみこのはがーぜ」の意味を教えてください。

<事務局>

よく噛むことが体に良いという意味の頭文字を取った合言葉であるが、「ひ」は肥満防止、「み」は味覚の発達などと続いていく。

<質疑>

噛み応えのある献立は、歯の生え変わり時期にあたる低学年児童にとって食べづらくな  
いか。保護者への説明や配慮が必要では。

<事務局>

極端に硬いものを出すのではなく、これまでの献立(切り干し大根や豆類、ごぼうなどの  
繊維質な食材)をベースに、切り方や組み合わせなどの調理方法を工夫して咀嚼回数を増  
やす取り組みである。何回噛むかを意識させる食育指導を段階的に行い、ゆっくり味わって  
食べる時間を意識させることで無理なく進めていく。

#### 議題6:学校給食費の改定(案)について(資料6)

<事務局>

令和8年9月1日からの学校給食費の改定案について説明を行った。国による給食費実  
態調査が毎年実施される方針に変わることを受け、市の価格が全国平均を引き下げる要因  
とならないよう、実態に即した改定を行う必要がある。

物価高騰に伴う食材費の上昇分を反映し、小学校は月額 6,100 円、中学校は月額 7,400  
円とする改定案を提示した。

なお、中学校の保護者負担額については現行の 4,850 円に据え置く予定である。

<質疑>

給食の回数が減っているのは夏休みが長くなったからか。また、回数が減ったことで単価  
が上がったということでしょうか。

<事務局>

その通りである。夏休みが長くなったことと、冬休みも1日延びているため、給食1食当たり  
の単価が上がっている。

<質疑>

給食を食べなかった児童生徒への返金はあるか。

<事務局>

例えば、長期欠席で食べられなかった児童生徒については保護者に給食を止めるか、否  
かの判断をお願いしている。

<質疑>

小学生は給食費が無償となっているが、宗教上の理由等で給食を喫食しない場合、保護者への返金対応はあるか。

<事務局>

今回の交付金は保護者によって国が自治体に給食費を負担するものではなく、給食事業を実施している自治体に国が地方にその財源を負担するものであるため、児童が食べなかったとしても返金するものではない。

議題7:学校給食研究協議大会の事業内容の見直し(案)について(資料7)

<事務局>

資料7に基づき、これまで実施してきた「学校給食研究協議大会」の開催形態を、研究発表を中心とした従来型から、展示や情報発信を中心とした「展示型」(給食レシピ紹介、パネル展示、動画による給食紹介など)へと移行する案を説明した。

見直しの背景としては、参加者の固定化・減少、市民への普及啓発の不足、開催準備に伴う教職員・栄養士の業務負担軽減(働き方改革の推進)などに課題があるため。

新たな開催案としては、市役所エントランス棟、1階多目的ホール等を活用し、給食献立の写真やレシピの紹介、食育に関するパネル展示、動画による学校給食の紹介など、市民への情報発信を充実させるとともに、学校現場や関係者の負担軽減も図っていきたいと考えている。

<質疑>

会場について、市民がより集まりやすい場所として、イオンなどの大型商業施設を検討してみてもどうか。

<事務局>

まずは公共施設での開催を考えている。その後、大型商業施設などでの開催についても検討していきたい。

<質疑>

当日の大会への保護者の出席について、各団体からの要請ではなく、今後はすぐーるなどを活用し、周知することでよいのか。

<事務局>

学校関係者への周知はこれまで通り市からの通知を送付し、保護者へは「すぐーる」で周知していく。各団体から保護者への要請は必要ない。

<議長>

周知用の資料は、案内文だけでなく、写真やイラストを多用したチラシ形式、またはお祭り感のあるデザインにした方が、保護者や児童生徒が手に取りやすく関心を持ちやすいと思うので、検討いただきたい。

議題8:その他(資料8)

<委員からのご意見等>

特になし

<事務局>

資料8に基づき、令和8年度の会議日程について説明を行った。

<議長>

以上で議事はすべて終了したので、議長の座を下ろさせていただく。皆様、ご協力ありがとうございました。

<司会>

安濃会長、ありがとうございました。以上をもちまして、令和8年度第一回越谷市学校給食運営委員会を閉会します。ありがとうございました。

以上

---

この会議の顛末の記載に相違ないことを証するため、署名する。

令和8年(2026年) 8 月 18 日

会 長

安濃 和也

署名委員

伊田 紀之

署名委員

田島 昌子

書記:越谷市教育委員会学校教育部給食課主幹 平野 浩孝